

J.LEAGUE NEWS

Official News Letter

vol. **123**

6.Mar.2006



編集・発行
社団法人日本プロサッカーリーグ

Amazing, J.

スポーツで、もっと、幸せな国へ。 Jリーグ百年構想



© J.LEAGUE PHOTOS

XEROX SUPER CUP

浦和が快勝 G大阪に3-1

ファン・サポーター待望の、Jリーグの2006年シーズンが幕を開けた。シーズン開幕を告げたのは「2006ゼロックス スーパーカップ」。Jリーグ開幕の1週間前に行われ、前シーズンのJリーグチャンピオンと天皇杯全日本サッカー選手権大会優勝チームが対戦する恒例のイベントだ。今年で13回目を迎えた大会は、ガンバ大阪（2005 Jリーグチャンピオン）と浦和レッズ（第85回天皇杯優勝）という、いずれも初出場となるチームの顔合わせ。2月25日に国立競技場で開催された一戦は、G大阪が開始2分に相手オウンゴールで先制したものの、浦和も反撃して堀之内が7分後に同点。浦和はさらに17分、ワシントンが逆転のゴールを決め、後半の立ち上がりにはポンテが加點して3-1の快勝。優勝賞金3000万円を獲得し、Jリーグ開幕に向けて弾みをつけた。敗れたG大阪には準優勝賞金2000万円が授与された。この1週間後の3月4日には、18チームによるJリーグ ディビジョン1（J1）、13チームによる同ディビジョン2（J2）がスタート。厳しい戦いは、12月2日の最終節まで続く。

J.League Official Sponsors

Calbee

Canon

SUNTORY

JOMO

NicoS

KONAMI

AIDEM

HEIWA

GE Money

Network Partner

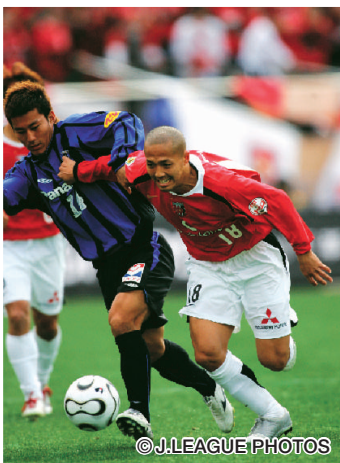


League Cup Sponsor

ヤマザキナビスコ

Jリーグ百年構想
パートナー

朝日新聞



■ ゴールの応酬でスタート

「2006ゼロックス スーパーカップ」は、昨季のJリーグにおいて関西勢としても初優勝を飾ったガンバ大阪と、わずかに勝点1差で2位となった浦和レッズの対決となった。しかも、そのリーグでは最多得点を記録したG大阪と、それに続く得点を記録した浦和。1週間後のJ1開幕戦で再び顔を合わせ、ともに日本代表経験者を数多く擁する両チームでもあり、シーズン最初のタイトルをかけた白熱の攻防の予感が漂った。

試合はその期待を反映したかのように、ゴールの応酬でスタートした。口火を切ったのはG大阪だ。2分、FWフェルナンジーニョがけった左CKがファーサイドに流れるところ、浦和のDF坪井慶介が味方ゴールにけり込むオウンゴール。ゼロックス スーパーカップ史上、最も早い時間での得点により、G大阪がリードを奪った。

しかし、浦和もすぐに反撃を開始した。同点とするまでに要した時間は7分。これもリスタートからだった。左サイドで得たFK。浦和サポーターからは「堀之内、堀之内」のコールが沸き起こる。元日の第85回天皇杯全日本サッカー選手権大会決勝で、ヘディングで先制点を決めたヒーローの名前だ。彼らの期待が乗り移ったかのように、FWポンテからのボールを、DF堀之内内聖がまたも頭で決めた。

タイスコアとし、「最初の30分間はいいサ

ッカーができた」(ブッフバルト監督)という浦和は、なおも攻撃の手を緩めない。約4年半ぶりに古巣に復帰したMF小野伸二がポンテと絡み、G大阪のゴールに迫る。そして17分、小野が起点となった攻撃で逆転に成功した。

中盤で小野がスルーパスを狙ったが、G大阪のDFシジクレイがインターセプト。だが、ボールを支配下に置くことはできず、それを拾ったFWワシントンがドリブルで進み、GK藤ヶ谷陽介と1対1となって冷静に決めた。昨季は東京ヴェルディ1969の一員としてゼロックス スーパーカップで2点を決め、勝利の立役者となったブラジル人ストライカーが、再び大きな仕事を果たした。この大会において異なるクラブで得点を決めたのは、彼が初めてである。

一方、追う立場に回ったG大阪も、フェルナンジーニョのキープ力を生かし、MF二川孝広、新加入のFWマグノ アウベスとの連携から攻勢に転じる。だが、1トップ気味のマグノ アウベスが厳しいマークを受け、なかなか決定的なチャンスをつくれぬ。34分にはフェルナンジーニョ、マグノ アウベスが右サイドを崩し、中央に折り返したが、ボールはMF家長昭博のかかどに当たり、GK都築龍太の腕に納まった。

■ G大阪の猛攻を押さえ込む

ハーフタイムに「ボールをしっかりつないでアグレッシブに戦い、早く3点目を取る

う」とブッフバルト監督に送り出されたイレブンは、後半立ち上がりからエンジン全開。51分には、望みどおりの得点をものにする。G大阪のDF明神智和がヘディングでクリアしたボールを小野が拾い、後方から走り込んできたポンテへ。右足の低いシュートが、ゴール左隅に決まった。

2点差をつけられたG大阪は62分に新加入のMF加地亮を投入し、3バックから4バックに移行して流れを変えようとした。彼が右サイドで「ダイナミックな動き」(西野朗監督)をみせるなど、必死の反撃を試みる。マグノ アウベス、MF遠藤保仁らがシュートを放ってスタンドを沸かせたが、ついにゴールを割ることはできなかった。

今季、すべてのタイトル獲得を目標に掲げた浦和の3-1の快勝。ブッフバルト監督は「まだ期待したレベルには達していないが、この結果は妥当だと思う。カップを獲得できて、とてもうれしい」と、今季最初のタイトルを喜んだ。これに対し、敗れたG大阪の西野監督は「非常に悔しい」としながらも「悲観する内容ではない。可能性を感じた試合だ」と、Jリーグの戦いに向けて手応えを感じ取った様子だった。

新加入選手を加え、コンビネーションの構築など難しい時期の試合ではあるが、両チームは昨季のタイトルホルダーとして誇りをもち、高度でエキサイティングなプレーを披露してくれた。今季のJリーグは、どのようなドラマが待っているのだろうか。

2006プレスカンファレンス開催

Jリーグは2月24日(金)、都内でメディア、スポンサー・サプライヤーの関係者など700名を招待して「2006 Jリーグプレスカンファレンス」を開催した。

第1部では、ジョン・カビラ氏と安部みちこさん(NHKアナウンサー)、スペシャルインタビュアーとして中西哲生氏をナビゲーターに、今季プロモーション発表、全31クラブの監督・選手へのインタビ

ューなどを行った。鈴木昌Jリーグチェアマンは「サッカーへの関心が高まるワールドカップイヤーに、Jリーグの新しい魅力を伝えていきたい」とあいさつした。

第2部では、各クラブが個別にブースを設け、監督・選手がインタビューを受けるなど、クラブPRを行った。



岡田武史監督(横浜FM)

昨年やり残したことにチャレンジしたいと思い、4年目の指揮をとることにした。新しいシーズンが楽しみだ。



アウトウオリ監督(鹿島)

(昨年まで率いた)サンパウロと鹿島を比べるつもりはない。日本の環境で、伝統ある鹿島の強さを引き出せるチーム作りをしたい。



倉貫一毅選手(甲府)

J1の舞台で、いいパフォーマンスができるようにがんばりたい。



監督会議開催

プレスカンファレンスの前には、J31クラブの監督を集めた2006年監督会議が開かれた。鈴木チェアマンのあいさつに始まり、JリーグおよびJFA各委員会委員長より今シーズンの運用等についての伝達が行われた。JFA技術委員会からはワールドカップや各年代代表への選手派遣要請、JFA審判委員会からは選手の装身具の取り外しへの協力要請があった。



2006シーズン、こう戦う

2006 Jリーグはディビジョン1 (J1)、ディビジョン2 (J2) が3月4日に開幕した。ワールドカップイヤーの今年、新たな顔を加えた31チームがどんな戦いを見せるか。監督に抱負を聞いた。

J1

J1
KASHIMA
Antlers

クラブスローガン
一新制覇

監督の抱負
Jリーグ各クラブに対してもさらにはチーム内においても「高い質の競争」を求めていく。戦うからには、勝つことを前提として向上心をもって取り組んでいきたい。

パワロアウトウオリ監督

J1
Red Diamonds

クラブスローガン
RAISE YOUR SPIRITS! ~速く、激しく、外連味なく~

監督の抱負
非常にいい補強をすることができた。各ポジションに2人以上の選手がいて、チーム内でフェアに競いあうことで、より成長し、そうした中で、すべてのタイトルを取ることを目標にクラブ一丸となって臨む。

ブッフバルト監督

J1
OMIYA Ardiya

クラブスローガン
大宮エクスプレス
~加速するオレンジ魂~

監督の抱負
いわゆる「2年目のジクズ」を打破し、大型補強により得た戦力で上位進出を目指す。大宮の特長である「組織的なサッカー」は継続しつつ、より攻撃的なサッカーを展開する。

三浦俊也監督

J1
JEF UNITED
ICHIHARA CHIBA

クラブスローガン
WIN BY ALL!

監督の抱負
また新しいシーズンが始まる気持。昨年、ジェフはひとつのこと(ナビスコカップ優勝)を成し遂げた。しかし力を維持するというのは、ある意味で何かに挑戦するより難しいもの。今シーズンも難しい1年になるだろう。

オシム監督

J1
F.C.TOKYO

クラブスローガン
Ousadia~信頼・勇気・挑戦~

監督の抱負
昨年ほどのチームも力が均衡していたため、今年も一層厳しい戦いが予想される。他のチームを敬いながらも、大きな目標を果たすために戦っていく。1ステージ制なので、リスクを背負ってでも勝ちに行く。

ガーロ監督

J1
KAWASAKI Frontale

クラブスローガン
Challenge the future

監督の抱負
J1リーグの2年目は昨年以上に厳しい戦いとなるだろう。常に高い意識をもって一つ一つのプレー、一試合一試合のゲームを大切に、チーム一丸となって戦っていく。

関塚 隆監督

J1
Yokohama F. Marinos

クラブスローガン
Win back the champ!

監督の抱負
目標はもちろんJリーグのタイトルを獲得することだが、ピッチの上で選手たちが生き生きと躍動しているようなプレーで見る人を感動させたいと思っている。

岡田武史監督

J1
VENTFORET KOFU

クラブスローガン
Explore J1~探検J1

監督の抱負
お客さんが一度試合を見たら、もう一度見たいと思うサッカーを目標とし、純粋にサッカーを「プレー」するチームであるところを見てもらいたい。

大木 武監督

J1
Albirex NIIGATA

クラブスローガン
新生 [新潟に生きる]

監督の抱負
Play Aggressively・Think Logically・Do Best・Make an Impression
攻守にアグレッシブなプレーをしながらも、論理的な判断を下すサッカーを目指す。

鈴木 淳監督

J1
SHIMIZU SPULSE

クラブスローガン
かける想い。

監督の抱負
目標は「チャレンジ5」。①J1・5位以内②勝ち点50以上③得点50以上④公式戦5つめのタイトル奪取⑤ホーム観客数5,000人UP。シンプルかつ魅力的なサッカーを展開したい。

長谷川健太監督

J1
Júbilo IWATA

クラブスローガン
羅針—The path to glory

監督の抱負
シーズンを通して優勝争いをし、タイトルを狙う。今年は挑戦者としてチャレンジする。スペースに走り、スペースにボールを出す。運動量豊富な、スピードなサッカーを目指す。

山本昌邦監督

J1
NAGOYA Grampus EIGHT

クラブスローガン
前線へ。その先へ。
Grampus Challenge 2006

監督の抱負
名古屋のスタイルを確立することが最も重要だと考えている。グランパスエイトが行っているシステムを自信を持ってできるチームにしたい。

フェルフォーセン監督

J1
KYOTO Purple Sanga

クラブスローガン
ONE FOR TEAM—情熱旋風—

監督の抱負
われわれ京都のストロングポイントは、昨シーズンから大きくメンバーが変わっていないこと。昨シーズンからの戦いをベースに、戦術、技術、フィジカル、メンタルを20%アップさせて、J1でチャレンジしたい。

柱谷幸一監督

J1
GAMBA OSAKA

クラブスローガン
もっと熱く、青く、強く!!! ~さらに新たな挑戦へ~

監督の抱負
チャンピオンになったことで、高いステージで戦える状況にある。希望通りの補強ができ、国内のみならず、海外でもガンバ大阪をアピール出来るように戦ってきたい。

西野 朗監督

J1



Cerezo OSAKA

クラブスローガン
さらなる挑戦

監督の抱負
昨年より質を上げていきたい。

小林伸二監督

J1



SANFRECCE HIROSHIMA FC

クラブスローガン
We get Dreams !

監督の抱負
ビッグクラブと「同じことをしても勝てない」。よりハードワーク、より強固にチームコンセプトを築く。1つのボールに、2人3人4人と絡んでとび出していく、アグレッシブな攻撃的サッカーにチャレンジしていきたい。

小野 剛監督

J1



Avispa FUKUOKA

クラブスローガン
Climb to the top!
「闘う集団」 「競い合うチームづくり」

監督の抱負
若さ、運動量、チームのまとまりを武器に全体をコンパクトに、きりかえの早い、テンポの良いスピードラーな全員守備、全員攻撃のサッカー。また、ダイレクトプレーとポジションプレーのバランスのとれたサッカーを目指す。

松田 浩監督

J1



TRINITA FC OITA

クラブスローガン
Challenge & Challenge

監督の抱負
昨年と同じように攻撃的なサッカーで勝利を目指したい。みんな動き回り、多彩なポジションチェンジを展開し、よりスピーディーなサッカーを見せたい。

シャムス力監督

J2

J2

J2



Consadole SAPPORO

クラブスローガン
闘(とう)

監督の抱負
「ACTION&MOVING」 一人一人が正しい状況判断をして動き出し、1つのボールを厳しく奪い合い、競り勝てる力を持つ。「正確に、より早く・強い」アクションサッカーで挑む。

柳下正明監督

J2



VEGALTA SENDAI

クラブスローガン
勝利or勝利 ~絆を力に変えて~

監督の抱負
サッカーは予測の出来ないスポーツ。サッカーは規律を守りながら楽しく戦うのもの。チームワークを守って、何が起きても対応する。良い目的を持ってタイトルに向かって進んでいく。

ジョエル サンタナ監督

J2



Montedio YAMAGATA

クラブスローガン
CONCENTRATION 集中

監督の抱負
Competition 競争 / A sense of unity 一体感 / Hard work 100%のプレー
J1昇格をめざして集中して戦い、常にベストを尽くす。

樋口靖洋監督

J2



FC MITO Hollyhock IBARAKI

クラブスローガン
CHEMISTRY ~新たな融合~

監督の抱負
就任以来4年目のシーズンとなり、昨年(13勝・10位)以上の成績を目指す。今までやってきたサッカーと新たな選手の能力を融合させ、化学反応を起こすような熱い戦いを目指す。

前田秀樹監督

J2



THESPA KUSATSU

クラブスローガン
走撃!

監督の抱負
J2まで3年で駆け上がった勢いと自信を取り戻して上位進出を目指したい。全員が最後まで走り切る「あきらめないサッカー」を展開する。

植木繁晴監督

J2



KASHIWA Reysol

クラブスローガン
タフネス
タフな選手で、タフに戦い、タフに勝利する

監督の抱負
過酷なJ2を戦うには、フィジカル・メンタル両面の「タフネス」が不可欠。目指すのは、前線からのプレスでボールを奪い、素早く相手ゴールへ向かう攻撃的サッカー。

石崎信弘監督

J2



Verdy FC NIPPON

クラブスローガン
All for win.

監督の抱負
90分間走り続け、最後まで勝利を目指すサッカーをお見せしたい。厳しい戦いになるが、選手、スタッフが丸となって、最後にみんなで喜ぶようにがんばりたい。

ラモス瑠偉監督

J2



YOKOHAMA FC

クラブスローガン
夢に蹴りをつける。

監督の抱負
受身ではなく、常に主導権が取れる攻撃を意識し、攻守の素早い切り替え、自分たちからアクションを仕掛けるアグレッシブなサッカーの確立を目指す。

足達勇輔監督

J2



Bellmare

クラブスローガン
Believe

監督の抱負
目指すのは、攻守の切り替えの速いコンパクトなサッカー。相手から奪ったボールを速く、シンプルにゴールに結びつけるサッカーを追求し、ゴールチャンス数を多く作る。

上田栄治監督

J2



VISSEL

クラブスローガン
Kobe Forever Forward

監督の抱負
「Developing to Win」, 「勝つための前進・発展」。素早いパス、攻撃力を武器にJ2リーグに挑む。勝利のためには発展しなければならない、発展すれば勝つことが出来る。

スチュアートバクスター監督

J2



TOKUSHIMA VORTIS

クラブスローガン
ヴォルティス劇場
~拍手の中、僕たちは主役になれる~

監督の抱負
今年もパスを主体として、流れるようにボールも人も動く、ムービングサッカーを目指す。昨年は失点が多かったため、今年は守備を強化し、昨年以上の成績を収めたい。

田中真二監督

J2



EHIME FC

クラブスローガン
Speed & Aggressive

監督の抱負
とにかくどのチームに対しても挑戦者のつもりで臨みたい。そして、自分たちのサッカー、Speed & Aggressiveを前面に出して戦いたい。守備も攻撃も、スピード感あふれる攻撃的サッカーを目指す!

望月一仁監督

J2



sagantosu

クラブスローガン
夢超越

監督の抱負
中盤から前と、両サイドバックの攻撃に重点を置いた、攻撃サッカーを目指す。守備面では、試合数よりも少ない失点を目指す。勝ち数が負け数プラス10を目指す。

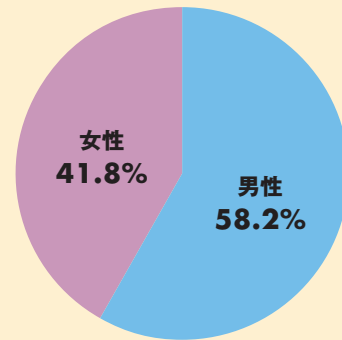
松本育夫監督

2005 Jリーグ スタジアム観戦者調査

Jリーグは、2005シーズンに実施したスタジアム観戦者調査(スタジアム来場者に対して行うアンケート調査)の集計結果を発表した。Jリーグ公式サイト(www.j-league.or.jp)で閲覧できる。

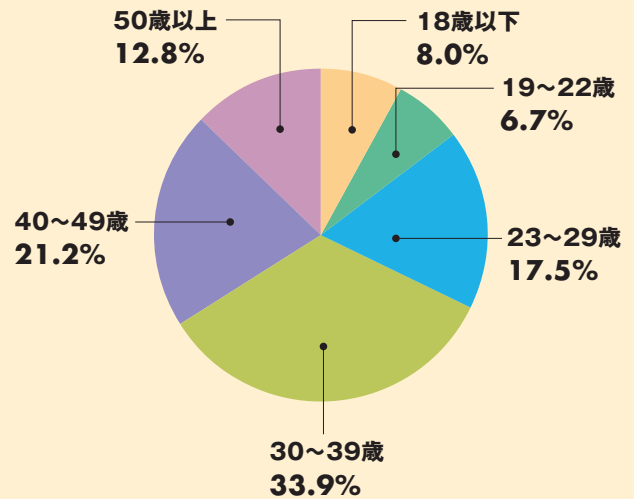
調査時期	2005年7月2日～10月30日							
調査対象	スタジアム観戦者、11歳以上男女個人							
調査方法	スタジアム内における集合配布法を用いた質問紙調査法							
回収状況	有効回収数 13,019票(J1:7,996票 J2:5,023票)							
協力	筑波大学・人間総合科学研究科・助教授 仲澤 眞		早稲田大学・スポーツ科学学術院・教授 原田宗彦		大阪体育大学・体育学部・助教授 藤本淳也			
	名古屋大学・総合保健体育科学センター・講師 高橋義雄							
実査協力	仙台大学・スポーツ科学研究科・助教授 永田秀隆		日本文理大学・経営経済学部・講師 竹田隆行		びわこ成蹊スポーツ大学・競技スポーツ学科・講師 松岡宏高			
対象試合	リーグ戦	対象クラブ	節	開催日	対戦クラブ	スタジアム	有効回収数	
							全観戦者	ホームクラブ応援者
	J1リーグ戦	鹿島	13	7月3日	清水	カシマ	415	363
		浦和	29	10月29日	川崎F	埼玉	421	404
		大宮	24	9月17日	千葉	大宮	372	286
		千葉	28	10月22日	神戸	フクアリ	385	354
		柏	13	7月2日	広島	柏	357	281
		F東京	15	7月9日	東京V	味スタ	430	381
		東京V	16	7月13日	神戸	味スタ	398	267
		川崎F	17	7月17日	C大阪	等々力	375	322
		横浜FM	26	10月1日	大分	日産ス	385	331
		新潟	19	8月20日	G大阪	新潟ス	794	709
		清水	26	10月2日	G大阪	日本平	711	591
		磐田	27	10月16日	鹿島	静岡	375	297
		名古屋	29	10月29日	清水	豊田ス	434	296
		G大阪	28	10月22日	大分	万博	428	312
		C大阪	26	10月2日	浦和	長居	387	226
		神戸	27	10月15日	G大阪	神戸ウイ	454	259
		広島	28	10月23日	C大阪	広島ビ	412	318
		大分	27	10月15日	清水	大分ス	463	390
					J1計		7,996	6,387
	J2リーグ戦	札幌	26	8月13日	仙台	札幌厚別	485	441
		仙台	33	9月24日	湘南	仙台	466	434
		山形	36	10月15日	横浜FC	べにばな	461	375
		水戸	26	8月13日	草津	笠松	379	310
		草津	34	10月1日	水戸	群馬陸	381	283
		横浜FC	22	7月16日	湘南	三ツ沢	246	178
		湘南	32	9月17日	京都	平塚	474	371
		甲府	32	9月17日	水戸	小瀬	388	347
		京都	33	9月24日	札幌	西京極	455	329
		徳島	25	8月6日	湘南	鳴門	477	354
		福岡	33	9月24日	甲府	博多球	355	281
		鳥栖	38	10月30日	甲府	鳥栖	456	353
					J2計		5,023	4,056
					合計		13,019	10,443

男女比



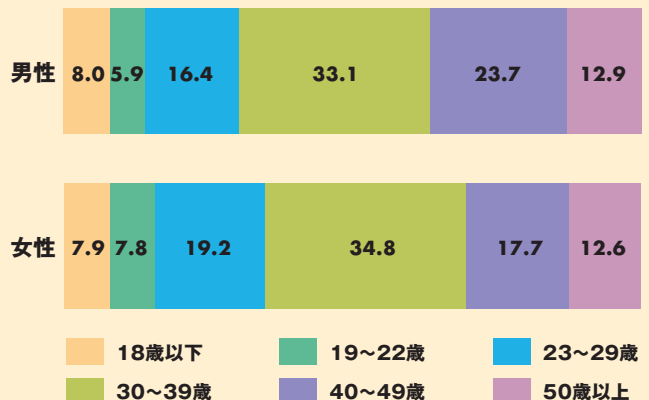
※集計対象:全観戦者

年齢構成分布



男女別

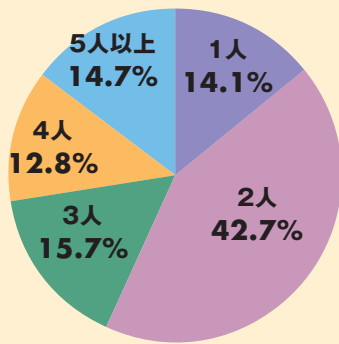
(単位:%)



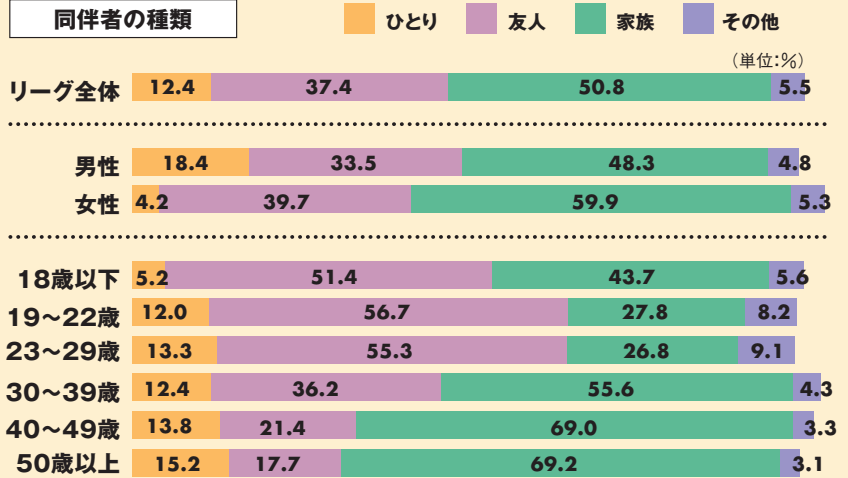
※集計対象:全観戦者

同伴者

平均同伴者数(人)

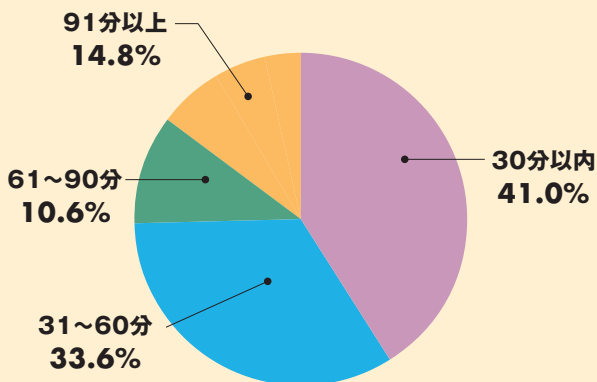


同伴者の種類



※集計対象:全観戦者 ※複数回答

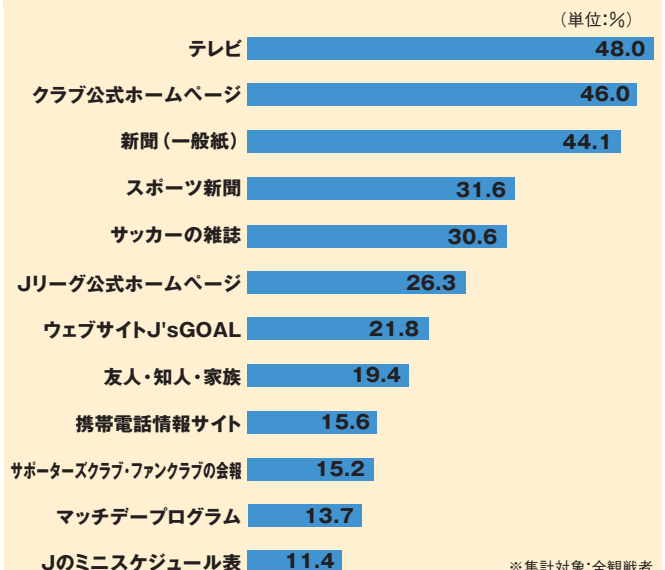
スタジアムへのアクセス時間



リーグ平均(全観戦者) 59.1分

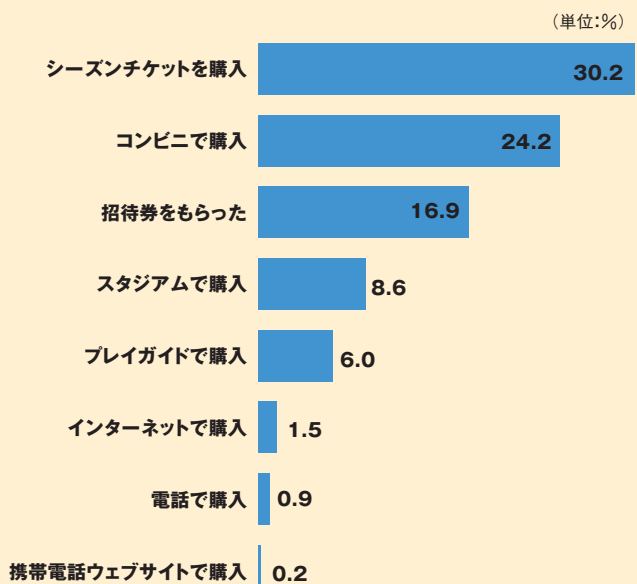
※集計対象:全観戦者

情報入手経路



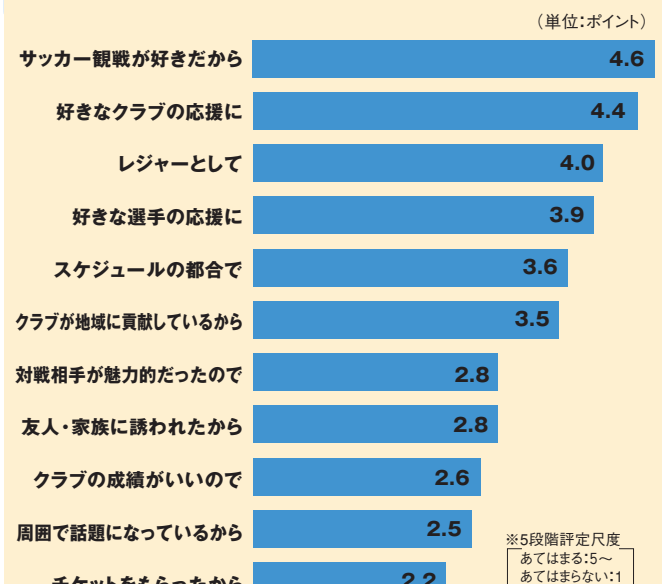
※集計対象:全観戦者
※複数回答

チケットの入手経路



※集計対象:全観戦者

観戦動機



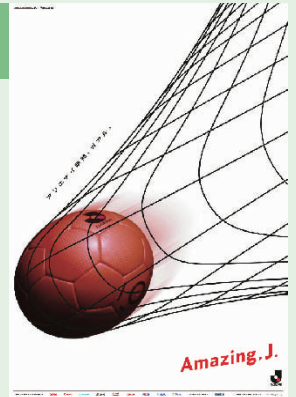
※5段階評定尺度
あてはまる:5~
あてはまらない:1

※集計対象:全観戦者

「Amazing, J. アリエナイ瞬間、ガアル。」

Jリーグは2006年も引き続き「Amazing, J. アリエナイ瞬間、ガアル。」をプロモーションワードとしてリーグプロモーションを展開する。ポスタービジュアルを中心に、赤いボールが印象に残るエキサイティングな映像をテレビCFとして、各クラブのホームゲーム開幕1週間前より、ホームタウン地元テレビ局（関東、関西を除く）で放映する。

映像ビジュアルは、2006 Jリーグの公式試合にて、映像装置のあるスタジアムでも上映される。



「芝生の小学校」篇

2006年「Jリーグ百年構想」プロモーション 「芝生の小学校」篇

2006年「Jリーグ百年構想」のプロモーションビジュアル第1弾は『芝生の小学校』篇。「Jリーグ百年構想」の夢の象徴である緑の芝生。校庭の芝生化に取り組む学校は年々増加し、現在その数は全国で1,000を超えるまでに広がっている（文部科学省調べ）。Jリーグ・Jクラブは、校庭の芝生開きに選手を派遣するなど、全国の校庭の芝生化を積極的に応援している。

2006年のプロモーションビジュアル第1弾では、Mr.ピッチが青々と広がる芝生の校庭を訪問する様子を表現している。スタジアム大型映像でのCF上映やポスターなどで露出の予定。

「フェアプレイ」の推進

Jリーグは、今年も「フェアプレイ」を推進する。Jリーグが日本サッカーのトップレベルの魅力的なリーグになるには、「フェアプレイ」を欠かすことはできない。「スポーツマンシップ」とは、相手を、審判を、そしてルールを尊重し、フェアに、そして真摯（しんし）に戦うこと。Jリーグは、子供たちの憧れの存在であるJリーグの選手に対し、その模範となるべく、アグレッシブでひたむきなプレーを要請、また指導者に対しても徹底してフェアプレイを伝授するよう通達し、スポーツマンシップにあふれたすがすがしい試合と感動を呼ぶプレーを推進していく。



世界で一番、幸せなスタジアムをつくらうよ!



スタジアムでの試合観戦を、より安全に、快適なものにするために、Jリーグは今年も「観戦マナー＆ルール」を掲げ、多くのファン・サポーターに理解と協力を呼びかける。

Jリーグ・Jクラブはスタジアム環境づくりに取り組み、今年も「花火、爆竹、発炎筒、ガスホーンの持ち込み」や「ビン・カン類の持ち込み」、「フィールドへのモノの投げ込み」、「フィールドへの飛び降り」という4つの禁止事項を“ピクトグラム”（イラストによる標識）に表し、ポスターとともに、スタジアムの電光掲示板・大型映像、Jリーグ・Jクラブ広報誌などで訴求していく。

「J. LEAGUE OFFICIAL FANS' GUIDE 2006」 「J. LEAGUE YEARBOOK 2006」発行



●「J. LEAGUE OFFICIAL FANS' GUIDE 2006」
ファン必携! J1・J2、全31クラブのオールカラー公式ガイド
チェアマン&ジーコ日本代表監督インタビュー/
2005プレイバック/全選手写真名鑑等
定価:1,500円(本体1,429円)



●「J. LEAGUE YEARBOOK 2006」
Jの歴史を1冊に凝縮。'05シーズンまでの全記録を網羅したレコードブック。
全31クラブデータ/ゲームテーブル2005/過去の大会/通算記録etc
定価:2,000円(本体1,905円)

発行:(社)日本プロサッカーリーグ
発売:コナミ(株)
問い合わせ:コナミ(株)・ブックセンター
(受付時間:10:00~16:00 土・日・祝祭日除く)
TEL 03-5775-1581

実行委員変更

Jリーグは1月25日および2月21日に開催した理事会で、以下のとおり実行委員・参与の選任を承認した。

実行委員		
クラブ名	変更前	変更後
モンテディオ山形	神保和史 (社)山形県スポーツ振興21世紀協会 常務理事	金森義弘(かなもり よしひろ) (社)山形県スポーツ振興21世紀協会 理事長
	参 与	
千田 進 : 前規律委員会委員長 マッチコミッショナー委員会委員長:1995年1月~2002年1月(在任7年1カ月) 規律委員会委員長:2002年2月~2006年1月(在任4年)		

専門委員会

Jリーグは、Jリーグ規約および専門委員会規程に基づき、専門委員会委員長および委員について以下のとおり選任した。

※敬称略

委員会	委員長	副委員長	委員
裁定委員会	筧 栄一	—	下河辺 淳
			C・マクドナルド
経営諮問委員会	武藤泰明	—	本林 徹
			荒田忠典
			石川順道
			瀧井敏郎
			原田宗彦
			宮 裕
			依田成史
			田島優子
			四十物悠起雄【新任】
			上野山信行【新任】
技術委員会	山下則之【新任】	—	祖母井秀隆【新任】
			大住良之【新任】
			小幡真一郎【新任】
			眞藤邦彦【新任】
			反町康治【新任】
			瀧井敏郎【新任】
			武智幸徳【新任】
			中村勝則【新任】
			小竹伸幸
			田川貴浩
法務委員会	池田正利	—	小竹伸幸
			小幡真一郎【新任】
規律委員会	野村六彦【新任】	—	佐々木一樹【新任】
			鎌田光夫
審判委員会	高田静夫	—	菊地秀夫
			森津陽太郎
			小幡真一郎【新任】
			大野辰巳
			田中佳孝
マッチコミッショナー委員会	坂田信久【新任】	—	石崎忠利【新任】
			松浦敏夫【新任】
			植木真琴
ドーピングコントロール委員会	青木治人	佐々木一樹【新任】	
		河野照茂	
		川尻博男	
			西尾真友
			森川嗣夫

*任期:2006年2月1日~2008年1月31日(2年)

<退任>

技術委員会	委員長:藤口光紀 委員:高田豊治、木村和司、池田誠剛、小松義典、山口隆文
規律委員会	委員長:千田進、委員:藤口光紀
審判委員会	委員:L・モットラム、野村六彦
マッチコミッショナー委員会	委員長:藤口光紀、副委員長:野村六彦
ドーピングコントロール委員会	副委員長:藤口光紀

オフィシャル・レフェリー・ウオッチ・サプライヤー契約更新

Jリーグは、1月25日に開催した理事会で、アディダスジャパン株式会社と「オフィシャルレフェリー ウオッチ サプライヤー」契約を更新することを承認した。契約期間は、2006年1月1日~12月31日の1年間。

2007JOMOオールスターサッカー開催会場について

Jリーグは2月21日に開催した理事会で、2007JOMOオールスターサッカーの開催会場を静岡スタジアム エコパに決定した。オールスターサッカーは、サッカーの普及、発展のため1993年より毎年日本各地で開催している。

【スタジアム概要】

- 名称:静岡スタジアム エコパ
- 所在地:静岡県袋井市
- 収容人数:51,349人
- 開催日時:未定

朝日新聞社とJリーグ百年構想パートナー契約を継続

Jリーグは、2月21日に開催した理事会で、株式会社朝日新聞社と『Jリーグ百年構想パートナー契約』を継続することを決定した。Jリーグ理念の具現化に向けた各種活動に対する広報支援や「Jリーグ百年構想」の啓蒙活動などを内容とする。契約期間は、2006年の1年間。

スポーツ振興パートナーシップ契約締結

Jリーグは、2月21日に開催した理事会で、株式会社ジェイリーグエンタープライズ(JLE)とスポーツ振興パートナーシップ契約を締結することを決定した。JLEは「スポーツ振興くじ(toto)」を販売する独立行政法人日本スポーツ振興センターの広告宣伝および販売促進活動業務を行う。これに対し、JリーグはJLEに前記活動におけるJリーグのプロパティ等の使用権や広報活動への協力を行う。契約期間は、2006年4月1日~2007年1月31日。



アイデム・Jリーグ写真展「ここでしか会えないJリーグ」開催

Jリーグオフィシャルスポンサーの(株)アイデムの主催で、アイデム・Jリーグ写真展「ここでしか会えないJリーグ」が1月5～18日、アイデムフォトギャラリー「シリウス」(東京都新宿区)で開催された。Jリーグファンのみならず多くの人々に親しみを持ってもらえるよう、Jリーグの試合風景をはじめいろいろな角度からJリーグが写し出された写真が展示された。1月14日には、藤田俊哉選手(名古屋グランパスエイト)と中西哲生氏(スポーツジャーナリスト)のトークショーも行われ、多くのサッカーファンが来場した。

2006年度(平成18年度)のJリーグ収支予算

Jリーグは、2月21日に開催した理事会・総会で、2006年度(平成18年度)収支予算を決定した。

■ 2006年度(平成18年度) 収支予算		(百万円)	
	2006年度予算 (a)	2005年度見込 (b)	前年見込対比 (a-b)
【収入の部】			
1. 入会金・会費	980	1,040	▲60
2. 協賛金	4,428	4,005	423
3. Jリーグ主管試合入場料	344	265	79
4. 放送権収入	4,902	4,913	▲11
5. 商品化権収入	538	569	▲32
6. その他	500	512	▲12
7. 当期収入合計	11,692	11,304	387
8. 前期繰越収支差額	254	316	▲63
収入合計	* 11,945	* 11,621	* 325
【支出の部】			
1. 事業費			
リーグ運営経費	3,016	2,540	476
クラブへの配分金	5,815	6,066	▲251
その他	922	785	137
2. 管理費	1,702	1,653	49
3. その他	375	324	51
支出合計	* 11,829	* 11,367	462

* クラブへの配分金に含まれるものは以下のとおり：公式試合出場料、放送権料、商品化権料
* 四捨五入により一部合計が合わないところあり。

2006年度スポーツ振興活動への支援について

Jリーグは、Jクラブによるホームタウンまたは活動区域におけるサッカー以外のスポーツ振興活動を本年度も奨励し支援する。クラブと地域が交流を深め、「誰もが気軽にさまざまなスポーツを楽しめる社会」づくりに資することを目的とするもの。Jクラブが企画、運営の主体となる、サッカー以外のスポーツ全般を支援の対象(女子サッカーやビーチサッカーなどは対象)とし、2006年度については、3期に分けて申請を受け付ける。Jリーグでは、年間3500万円を支援金として予算化している。

鹿島アントラーズのホームタウン広域化を承認

Jリーグは2月21日に開催した理事会で、鹿島アントラーズがホームタウンを広域化し、従来の鹿嶋市、神栖市、潮来市の3市に加えて、2006シーズンより銚田市、行方市の2市も新たにホームタウンとすることを承認した。

鹿島アントラーズ ホームタウン	
変更前	変更後
鹿嶋市、神栖市、潮来市を中心とする地域	鹿嶋市、神栖市、潮来市、銚田市、行方市

キャノンカップ ジュニアサッカー 2006を後援

Jリーグは、「キャノンカップ ジュニアサッカー 2006」を後援する。同大会は、少年・少女のサッカーの普及・育成および国際交流・国際親善を目的とし、5～6月に1次、2次の選考会を開催した後、7～8月にアメリカ・カリフォルニアへの海外遠征を行う。216チームが参加する予定。

「第10回北九州市長杯争奪 北九州招待サッカー大会」を後援

Jリーグは、「第10回北九州市長杯争奪 北九州招待サッカー大会」(主催：福岡県サッカー協会ほか)を後援する。アビスパ福岡など3チームが参加し、北九州市におけるサッカー振興と競技力の向上を図ることを目的に、3月18、19日に開催される。

2006年新人研修開催

Jリーグは、今年Jクラブに加入する新卒選手を対象に2月1～3日、静岡県掛川市でJリーグ選手協会と共催で『2006 Jリーグ新人研修会』を開催した。109名の選手が参加した。今季プロを引退した相馬直樹氏(元川崎フロンターレ)が講師を務めた「プロ選手の心構え」をはじめ、選手契約制度や危機管理、メディア対応、ファン・サポーターサービスなどをテーマに、さまざまな分野から講師を招いて実施された。選手には、集中講義のほか、ボランティア活動(公式試合の運営ボランティア、地域ボランティア等)を実施することが義務づけられている。

JリーグGM講座開催

Jリーグは、2005年度JリーグGM講座を2月16～17日、JFAハウス(東京)で開催した。テーマは「モチベーション・マネジメント研修」。講師として招いた(株)リンク アンド モチベーションのスポーツマネジメントグループマネジャー、山谷拓志氏は、1泊2日の研修を通じて、①部下のモチベーションを引き出す②自分のモチベーションを高く保つすべを学ぶことをテーマに講義を行った。Jリーグ18クラブから18名が参加した。

●お詫びと訂正●

122号P5の「2006Jリーグ年間日程」中、FIFAワールドカップ(ドイツ)の日本vsブラジル(ドルトムント)は6月22日(木)の誤りでした。お詫びして訂正します。